

保健だより

令和5年12月1日（金）
太田市立木崎中学校
保健室 No. 9



あなたが変われば エイズのイメージが変わる UPDATE HIV!

これは、令和5年度エイズキャンペーンテーマです。

社会を構成する一人一人の「あなた」に呼びかけるメッセージとなっているそうです。ひとりでも多くの方がHIV/エイズのことを自分の事として捉え、HIV/エイズに関する検査や治療、支援などの知識を身につける契機とし、最新の知識の普及を通じて、HIV検査の受検促進や差別・偏見の解消につなげていきたいという想いが込められています。

エイズって何？

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することで起こる病気です。

HIV=エイズではありません。適切な治療で、エイズ発症は予防できます。

どうやって
感染するの
？

性行為や血液を介しての感染、母子感染などがあります。日常生活のなかで感染することはありません。

感染の心配がある場合は保健所や病院などで検査を受けられます。保健所では名前や住所を知らせずに無料で検査できます。

差別や偏見を考えてみよう



友だちなど身近な人が新型コロナウイルス感染症にかかった時に、こんなことをしていませんか？

友だちに「ウイルスだ!」と言ったり
「うつされる」と近づかないようにしたりした

SNSに「〇〇はコロナになった」と
友だちの名前を書き込んだ

目に見えないウイルスや病気への不安や恐怖が原因で、感染者を避けようとしてしまうことがありますが、これらは差別や偏見につながるかも。

12月10日は世界人権デー

これを機会に、感染した人にも治った人にも温かい対応ができるように、日頃の生活を振り返ってみましょう。



エイズツリーを展示しました



11/30(木) 昼休みに、保健委員会で、エイズツリーを来賓玄関前に飾りました。

ツリーには、エイズに関するQ&Aのパネルも飾ってあります。生徒のみなさんはぜひ、近くを通ったら見てみてください。保護者の皆様も、来校した際には、ぜひご覧になってください。

<12/18(月)まで展示予定>

◎『知ること』がワクチン

「知らない」「分からない」ということが私たちの恐怖心を増大させ、差別や偏見につながります。病気のことについて学び、よく理解すれば差別や偏見も防ぐことができます。



レッドリボンの意味とは？

“レッドリボン”がエイズのために使われ始めたのは、アメリカでエイズが社会的な問題となってきた1990年ごろのことです。このころ、演劇や音楽などで活動するニューヨークのアーティストたちにもエイズがひろがり、エイズで死亡する人々への追悼の気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すため、“赤いリボン”をシンボルにした運動が始まりました。

この運動は、その考えに共感した人々によって国境を越えた世界的な運動として発展し、UNAIDS（国連合同エイズ計画）のシンボルマークにも採用されています。

レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。

このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズのことをみんなでお考えしましょう。

本日、生徒1人1人にレッドリボンを配付しました。

このリボンは、保健委員が1つ1つ手作りしたものです。

差別のない世界となるよう、12/1は、レッドリボンを胸につけ学校生活を送ってみてはどうでしょうか。

